

「命名権」に値ごろ感 歩道橋なら年5万円も

おカネ知って納得

2022/7/2 2:00 | 日本経済新聞 電子版



大阪府枚方市は図書館のスペースや部屋ごとに命名権を募集した

関西のネーミングライツ（命名権）といえば、サッカー場の「パナソニックスタジアム吹田」（大阪府吹田市）などが有名で、年間の契約額が1億円以上にのぼることもざらだ。だが最近では中小企業でも取得できる、10万円前後の値ごろな案件が出てきた。

その代表格が歩道橋だ。大阪市建設局によれば、JR大阪駅と阪急・阪神の梅田駅を結ぶ梅田新歩道橋が年600万円（税込み、以下同じ）、大阪・阿倍野の阿倍野歩道橋が年135万円とやや高いが、それ以外は30万円程度となっ

関西の主なネーミングライツ

名称	年間価格
パナソニックスタジアム 吹田（大阪府吹田市）	2億1600 万円※
ロームシアター京都 （京都市）	1億円
京都市京セラ美術館 （同上）	1億円
ノエビアスタジアム神戸 （神戸市）	6200万円

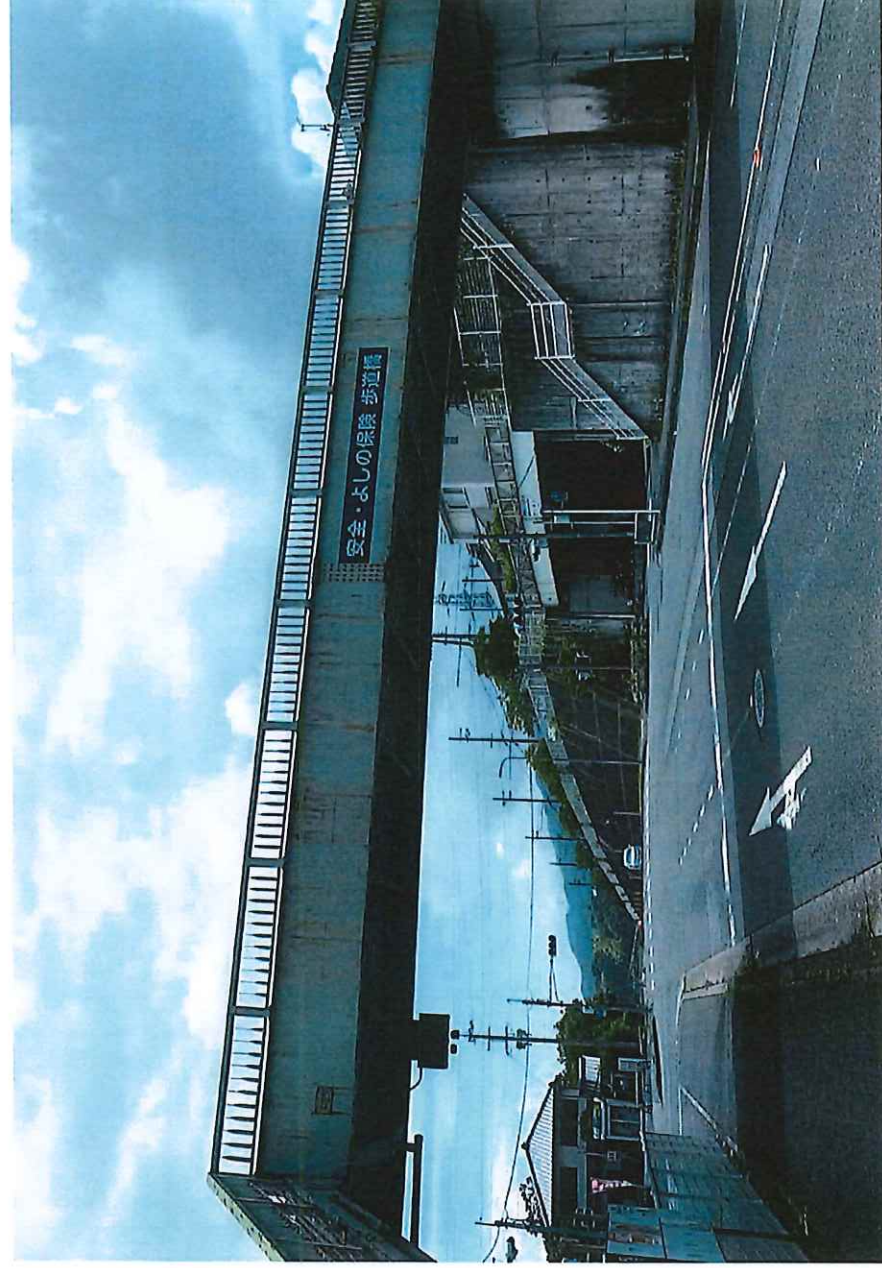
（注）カッコ内は場所。価格は※が税込み、ほかは税別

命名権の価格が下がってきた背景には、募集する自治体間の競争がある。大阪府東大阪市は市内7カ所の歩道橋について、年5万円からに設定した。隣接する大阪市の水準や車の通行量などを加味したという。もっとも、今のところ成約はゼロだ。

従来なら高額になりやすかった体育館や図書館を、部屋やスペースごとに切り分けて募集する自治体も出てきた。丸ごと名前を変えると利用者に分かりにくくなるためだが、取得する側にとっては単価が下がるので手を挙げやすい。

大阪府枚方市は市立中央図書館のエントランスホールについて、年6万円（税別、以下同じ）で社会医療法人の美杉会グループ（枚方市）と契約した。同じ図書館の飲食しながら本を読む軽読書コーナーも、別の企業と年3万円で交渉している。

いる。



保険代理店のよしのが命名権を取得した歩道橋（和歌山県橋本市）

もっとお得な歩道橋はないか調べると、郊外にはたくさん掘り出しものがあった。和歌山県橋本市が今年初めて募集した歩道橋は年16万5000円から。2カ所で取得した保険代理店、よしの（奈良県五條市）は「大きな負担なく地域に貢献できる」と喜ぶ。

ユニークなのは「花湖（はなこ）さんの打出（うちで）のコツチ」という名称で滋賀県が開いている文化財講座。年5万円の価格で、温泉旅館を運営する国華荘（大津市）のイメージキャラクターの名前に加えて、イラストもチラシなどに載せている。

こうした命名権を取得した中小企業に共通するのは地元の役に立ちたいという思いだ。値ごろだけあってあまり目立たないが、名前が出るので満足感は得られる。大型案件が出尽くして注目が薄まった感のある命名権だが、やり方次第で裾野は広がる。

（高橋圭介）

【関連記事】

- ・ [「大阪の物価は安い」は本当？ 光熱・水道など平均以下](#)
- ・ [お賽銭持ち帰ると…清荒神清澄寺「倍返し」の流儀](#)
- ・ [京都・鴨川の納涼床に席料？ 足場の維持費など反映](#)
- ・ [JR西日本、途中下車したらお得？ 複雑な運賃体系のワケ](#)



本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.